

舞川小学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第2回舞川小学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和5年11月22日(水)午後1時55分から午後3時30分まで
- 3 開催場所 舞川小学校 会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 千葉隆委員(会長)、小野寺千秋委員(副会長)、千葉綾子委員、小野寺美智子委員、佐藤浩一委員、伊藤一委員、芦萱貞夫委員、新川直子委員、小野寺信介委員、佐藤千代委員(舞川幼稚園長)、野原勝博委員(舞川中学校長)
 - (2) 事務局 及川宇雄舞川小学校長
- 5 議題
 - (1) 児童の学習の様子について(各学年授業参観)
 - (2) 学校運営支援協議会について
 - (3) 令和5年度のこれまでの学校運営の状況について
 - (4) ワークショップ
- 6 公開、非公開の別 (1)非公開、(2)から(4)公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 及川宇雄舞川小学校長

本日はご多用の中ご出席いただき、感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症のピークが緩和され、4年ぶりの開催という行事もあり、新しい形を検討しながら工夫して取り組んできました。今回も、委員皆様から忌憚のない意見を頂戴したい。よろしく願います。

9 議事内容等

- (1) 学校運営支援協議会について
資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。
- (2) 令和5年度のこれまでの学校運営の状況について
事務局から口頭で説明を行った。質疑等なし。
- (3) ワークショップ
事務局から資料に基づき説明を行った後、グループに分かれてワークショップを行った。以下、出た意見を全体に共有した内容である。
ア <Aグループ> あいさつについて
委員 学習発表会の様子を見ていると、声が小さいなど、子ども達に活

気がないように感じられた。また、毎月のあいさつ運動でも声が小さいと感じている。

委員 基本は家庭ではないか。

委員 地域の組織も関わって、大人も地域の子ども達へ挨拶をしていくような関わり方をしていかなければならない。

委員 花壇の球根植えでも、話しているときに集中できていない様子が見られた。

事務局 自分に自信がないからかもしれない。自己肯定感や存在意義を高められるような支援が必要と考えている。また、「おはごあ」ことばの充実を図っていくと同時に、何か取組を考えていく。

イ 〈Bグループ〉 地域とともにある学校について

委員 不登校やいじめに関して、運動することが減ってきているのが影響しているのではないか。

委員 学校の様子、地域との関わりが地域に伝わっていない。学校発信の機会や地域とのイベントの減少に寂しさを感じる。校報も写真を多めにしたものにすると思う。

委員 保護者、地域、先生との交流の機会が減少している。

事務局 校報にはQRコードも載っている。読み取ることで、写真もカラーで鮮明に見ることができる。QRコードを読み取るという発信をもっとしていき、地域にも周知していく必要がある。アピールしていく。今後も、継続してこのような会をもち情報を共有していく。

10 担 当 舞川小学校